



平成最後の年が明けました。昨年度のご報告とご挨拶が遅れて申し訳ございません。ベルリンの壁が打ち壊され、大国ソ連の崩壊等政治的に大きな変動から始まった平成の 30 年。自然災害、人的災害等思い出すだけで恐ろしく悲しいことが多かった時代でした。その一方で、喜びや感動もたくさんもらえた 30 年でもありました。私たちにとっては、昭和から平成にかけてオグリキャップの伝説が築かれるのを目の当たりにしたことは一生の宝物です。あれから時が経っても、数々の競馬の名シーンにオグリの名前が挙がるのはうれしいことです。これから迎える時代が新たな喜びや感動を運んでくれるよう祈ります。

ワン君の近況

ワン君は 27 歳のお誕生日を無事に迎えました。私たちにとっては、いつまでもやんちゃで可愛いワン君なのですが、スエトシ牧場でも 4 番目の長老となり、最近では年齢相応の身体的トラブルもあります。夏になると恒例の感がある蕁麻疹は、昨年は早めの手当てが功を奏して軽い症状で済みました。びっくりしたのは、いきなり歯が抜けてしまったことです。7 月に下前歯が 1 本抜けました。馬の歯の専門医の往診をお願いしましたが、忙しいのでなかなか来てもらえないうちに 10 月に隣の歯がまた抜けました。往診



を強く要請して 11 月に診察を受けました。1 本目の歯は抜けたのではなく折れたもの。その歯の残骸から細菌が入り歯茎が炎症を起こし 2 本目が抜けた。1 本目の残骸を抜歯するのが望ましいが、ワン君の年齢的に危険を伴うので、むしろ処置をしない方が良く、という診断でした。レントゲン検査しないと断定はできないが、この症状は EORTH と思われるということでした。長くなりますので、EORTH については後述します。

1 月に疝痛が続けて起こりました。一応症状は治まったのですが、ボロが出にくくなり浣腸を数日行わざるを得ませんでした。浣腸は負担が大きいので、獣医の勧めによるアルギン酸ナトリウムの投与と飼葉に水分をたっぷり加える「どぶ飼い」を始めました。アルギン酸ナトリウムは海藻から抽出したもので、その食物繊維は便通に効果があり、天然資源から精製されるので安心・安全とされています。その後便通は改善、疝痛もおさまりましたが、ボロが出にくいのは肛門付近のメラノーマが出口をふさいでいる可能性も考えられます。メラノーマにはがん組織の増殖を抑える働きのあるシメチジン、どぶ飼いの水分にはチャーガ（カバノアナタケともいい、人間も使う健康茶）を煮出して使うよう勧められ、これもすぐに始めました。心配事が続けざまに起こりましたが、獣医によればワン君は 27 歳という年齢の割に身体は若く、メラノーマも年齢相応ということでした。

前述の EORTH は Equine Odontoclastic Tooth Resorption&Hypercementosis、直訳すれば馬の破歯細胞の再吸収とセメント質増殖。最近確認された高齢馬に多い症状で、破歯細胞が活発になり歯を溶かしてしまうため、それに反応してセメント質が過形成されてしまう歯の病気です。素人にはよく理解できないので

すが、普通は破歯細胞の活動とセメント質の形成のバランスがとれているはずがうまく行っていないらしいです。原因は不明です。病気の歯を抜くのが一番良いのですが、高齢のワン君にとって麻酔をかけて長時間の手術は負担が大きいので、しばらくは注意深く見守ることになりました。獣医の定期往診も頼みました。歯の不具合が原因なのか、しばらく前からおやつの人参が大きいままだと食べにくそうにしたり、藁が噛み切れなかったりしていました。疝痛～浣腸の知らせを聞いて、新鮮な青草を取り寄せてみました。以前府中にオグリキャップが来た時にボロが出なくなり、毎日新鮮な牧草を取り寄せたところ症状が治ったという話を聞いていたので、思いついたものです。ワン君大喜びで食べてくれたそうです。カバノアナタケは優駿 SS の堀場長が癌の手術後飲んでいて、ずっと元気だったことも思い出します。やはりすべてがオグリの思い出に繋がります。きっとお父さんが見守っていてくれると信じて、ワン君が健康でいられるよう、できるだけのことをしたいです。ちなみに 3 月 27 日は偉大なお父さんのお誕生日です。もうすぐですね。



会計報告

年末に行った会計監査の報告書を同封します。皆様のご支援のおかげで収支は好転しています。ただ、先に申し上げた通り、今年になってワン君にかなりの投薬が必要になりました。ワン君の健康状態を見極めながら、次回の監査会では、薬・サプリの要不要及び費用対策を改めて検討しなければならないかと思えます。

オグリっ子・孫

オグリキャップ最後の産駒として注目されたミンナノアイドルは 5 年の不受胎・流産のあと順調に男の子と女の子を産み、現在はキタサンブラックの子がお腹にいます。長男ストリートキャップは競走引退後金沢競馬場の誘導馬を目指して修業中。賢く人懐こいので、ここでも人気者で可愛がられているようです。同僚にオグリローマンの子のオグリホットがいて、やはり血縁のせいか仲が良いそうです。ふたり共頑張り！

文 Y.N